

児童生徒の出席の取扱い等について（更新版）

1 児童生徒の出席の取扱い

種 別	検査結果	出席の取扱い	備 考
出席停止	陰性	本人及び家族がPCR検査を受けた場合、陰性となるまで出席停止とする。	
		本人及び家族が赤地域から帰国した場合、2回目のPCR検査が陰性となるまで出席停止とする。	赤地域から帰国後すぐに1回目のPCR検査を受ける。陰性でも7日後に2回目のPCR検査を受ける。
	陽性	本人及び家族がPCR検査を受けた時から出席停止とするが、検査結果が陽性ならば <b>出席停止を継続する。</b>	陽性となった本人及び家族が治癒し、その後のPCR検査で陰性か、医師の許可があれば登校できる。 <b>ただし、本人が発症ならば最低10日間は出席停止とする。</b>
		赤地域から帰国後、1回目の検査結果が陽性で2回目の検査結果が陰性の場合、 ①本人の場合、さらに3日間は自主隔離で出席停止となる。 ②家族の場合、本人は登校できる。	左の例は本人及び家族が無症状の場合。症状がある場合は治癒し、PCR検査で陰性か、医師の許可があれば登校できる。ただし、本人が発症なら最低10日間は出席停止とする。
		本人が感染症を疑われる風邪症状で休む場合は出席停止とする。	
欠 席		感染症が疑われる風邪症状以外の症状で休む場合は欠席とする。	PCR検査待機の間は出席停止とし、欠席としない。

2 校内の連絡体制について

- ①教員は保護者から連絡を受けた場合、**発熱等症状の確認、発熱の場合は体温を確認する。また、発症の日時、PCR検査を受ける日時**、ご家族の状況もあわせて確認する。
- ②教員はPCR検査を受けた保護者から連絡を受けた場合①の内容を管理職、養護教諭へ報告をする。
- ③教員はPCR検査の結果の連絡を受けた場合、管理職、養護教諭へ報告する。

3 オンライン授業への移行要件について

クラスの児童生徒がPCR検査を受けた場合、所属する学年をオンライン授業とする。当該児童生徒が陰性ならば対面授業を再開する。陽性だった場合は**コンタクトトレーシングセンターの指示及び校医の意見により方針をお知らせする。**

4 よくある問い合わせについて（Q&A）

Q 熱はありませんが、のどの痛みや頭痛があります。休ませた方がいいですか？

A 熱がなくても、少しでも体調が悪いと感じたときは、登校をしないようお願いしています。ホームドクターに電話相談をして必要なら受診をしてください。

Q 病院には行った方がいいですか？

A 37.5℃以上の熱があった場合には、病院を受診して頂くよう伝えていますが、体温にも個人差がありますので、判断に迷った場合はホームドクターに電話をして受診が必要かどうかを確認してください。

Q 月曜日にPCR検査を受けることになりましたが、オンライン授業に切り替わりませんでした。

A 発症前48時間が感染を広げる可能性があるとの見解がベルギー公衆衛生省から示されています。月曜日に発症したとすると48時間前は土曜日ですから、学校には影響がないと判断するケースもあります。週休日に交流のあった友人がいた場合は、濃厚接触者として出席停止とする場合があります。

5 その他

ブラッセル日本人学校における新型コロナウイルス感染症への対応について（第十一報）に学校の取組の詳細を示しております。併せて、これまでの取組をアップデートした第十二、十三、**十五報**をご参照ください。

どれだけ気をつけていても、生活を営む中では完全に人を避けることはできません。そのため、新型コロナウイルス感染症が発生してしまうことは致し方のないことです。

本校関係者から新型コロナウイルス感染症をださない努力を皆で協力し取り組んでいます。しかし万が一、日本人学校の関係者が感染した場合、その時はお互いに助け合い励まし合う。それがブラッセル日本人学校の成員として当たり前のことです。「励まし合い、高め合い、志し高く」の精神で乗り切って参りましょう。